

議会の新たな体制がスタート

5月19日に開催された臨時会において、選挙により新しい正・副議長が選出されました。
また、各常任委員会の構成も変更がありました。



第69代議長
楠井 常夫

議長の役割は、議会運営を公平かつスムーズに進めて、議員各位の意見や主張を本市の目指す形に導いていくことだと思っています。相撲の行司や野球の審判のように、議会という場をいかにスマートに、公正にまとめ上げていくかが重要です。

現在、本市にとって一番重要な課題は、少子高齢化であり人口減少であります。なんとか本市の活性化を推し進め、人口減少に歯止めをかけなければなりません。市長をはじめ理事者とともに、我々市議会も市民の皆様の幸せのために、共に知恵を出し合い、本市の未来のために邁進していかねばならないと考えています。

そのためには、市民の皆様の意見や要望を議会の議論に生かして市政に反映させなければならぬと考えます。先人たちがリーダーシップを発揮し取り組んできた坂出市議会のさらなる改革を推し進め、議会の内容が分かりやすく柔軟に対応が速い、また、市民の皆様が気軽に意見や要望を言えるような、本当の意味でのバリアフリーを成し遂げ、市民の皆様のための議会とは何かにこだわった市議会を目指していきます。



第70代副議長
東原 章

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市長をはじめ議長・副議長の県外への出張がほぼ中止されていますが、再開された際には、本市のアピール力を入れていきたいと考えています。他自治体の市議会議員や国会議員、さらには各省庁にも出向き、変わりゆく本市をアピールし、印象づけていきたいと思っています。

また、何よりも市長が掲げる重要施策の進捗状況や課題を的確に捉え、時には市長の考えを正す、あるいは背中を押してどんどん前に進んでもらう必要があると考えています。

そのためには、市長と足並みをそろえて並走する必要がある、市長と同じ危機感を共有することで、様々な提案ができる議会にしていきたいと思えます。必要ならば特別委員会等の設置も検討していく必要があると思いますし、通年議会も念頭に置いて研究していく時期が来ているのではないかと考えています。

とにかく市長に遅れをとることなく同じ次元で物事が語れる、そういった議会をつくりたいと考えています。

5月臨時会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=18名
※議長は表決には加わりません。(欠席議員1名)

全議員が賛成した議案
(承認・同意)

専 決

専決処分の承認
(坂出市税条例の一部を改正する条例) など 2件

その他

坂出市監査委員の選任 など 2件

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【提出議案等・審議結果】をご覧ください。

5月臨時会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市監査委員 斉藤 義明 ◎坂出市職員懲戒審査委員会委員 山条 真嗣、中川 高弘